

V3女子開幕

バレーボールのV3女子は25日、三重県鈴鹿市のAGF鈴鹿体育館で行われ、Vリーグ初参戦の倉敷アブレイズは北海道との開幕戦を3-0で制し、白星発進した。(27面関連)

アブレイズは粘り強い守備でリズムをつくり、レフト田部やセンター、ロウメイらが得点。第1、第2セットをともに25-21で奪つと、第3セットは序盤に4連続ポイントを挙げるなどリードを広げ、ストレート勝ちした。

福岡は三重を3-1で下した。V3女子はV1、V2に続く新たなカテゴリーで4チームで争う。

記録は岡山関係分

V3女子
倉敷アブレイズ 3勝
252525
142121
0
北海道 1敗

アブレイズ 夢舞台で1勝

Vリーグ初勝利を決めるアタックが相手コートに落ちると、選手たちに笑みがはじけた。倉敷アブレイズは開幕戦で北海道に完勝。

小柄なエースけん引

「ずっと憧れていた夢の舞台で1勝できてうれしい」。望の瞬間に主将のセッター大島は喜びをかみしめた。けん引役は小柄なエース田部だ。170センチの体をしならせて鋭いスパイクを放ち、両チーム最多の21得点をマーク。ミスで失点した第2セット最終盤ではサイドライン際を打ち抜き、嫌なムードを振り払った。「今日は狙って決められた」。就実高時代に全日本高校選手権で準優勝した24歳は振り返った。

発足5年目のチームが強みとする守備も光った。リベロ高橋らが気迫十分にボールを拾い、得点を許さない。「守りの粘りにリズムを崩された」。アトラント、アテネ五輪代表の敵将・成田監督は脱帽した。

「試合前はみんな本当に緊張していたが、徐々にいつも通り動けた。次はさらに力を入れて戦う」と大島。目標に掲げる初代女王へ第一歩を踏み出したチームは26日の三重戦で連勝に挑む。(亀井良平)

第1セット、倉敷アブレイズの谷田彩矢香(左)がアタックを決め、25-21でのセットを奪う。AGF鈴鹿体育館



(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。